経営会議の内容

件名	第2期「健康都市 やまと」人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略について
所管部	政策部
日時・場所	令和2年 2月18日(火) 10:00 ~ 10:45 政策会議室
出席者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、教育部長、消防長、総合政策課長
提出理由	第2期「健康都市 やまと」人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたり、その内容について了承を得るため
会議経過	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期総合戦略の策定にあたり外部検討会議を立ち上げているが、委員からはどのような意見があったか。 (所管部) 大和市は交通の利便性が高く、非常に暮らしやすいまちであるという意見が多かった。また、子育て支援が充実していることなどを広く周知し、大和市の良い面を知ってもらうことが必要であるという意見もあった。このほかにも様々な意見をいただいたが、おおむね本市の取り組みの方向性と軌を一にするものが多かった。いただいた意見は、総合戦略の中に様々な形で反映している。 ・今回、現行戦略で位置付けられていた個別目標「結婚しやすいまち・結婚したくなるまちにする」を削除するとのことだが、判断に至ったアンケート結果などについて、詳細を教えてください。 (所管部) アンケートは、2019年の成人式の参加者に「結婚に対する意識調査」として実施したものである。この中で、行政が提供する婚活サービスを利用したいかを聞いたところ、利用したいと答えたのは15%ほどであった。また、県内では、既に婚活支援を実施している自治体があるが、婚姻数は上昇しておらず、費用対効果の面で疑問が持たれている。さらに本市の婚姻率は、全国的平均と比較しても、まだ高い状況である。こうしたことを総合的に勘案し、第2期総合戦略では、子育て支援策の実施を優先することとした。 ・「健康な人口」の3つの要素の1つである「北・中・南部での人口バランスが取れている」については実現が難しいものと思うが、具体的に想定している取り組みがあれば教えてください。 (所管部) 立地適正化計画の中では、駅を中心として、人口バランスを保つ取り組みを整理している。また、現在策定中の新たな都市計画マスタープラン中でも大きな方向性が示される見込みであり、機を捉えながら様々な取り組みを展開していくことが大切であると考えている。 ・本編に記載されている世代別の社会増減のデータをみると、10歳未満と30歳代が転出超過となっており、もし合計特殊出生率が上昇しても、転出されてしまうのでは意味がないように思うが、どのように考えているか。 (所管部) 転出超過となっている若い世代に、大和市に留まっていただくことが大切であり、子育て施策を手厚くすることや、それをしっかりと発信していくことが大きなポイントになると考えている。その取り組みは、基本目標1に掲げているところである。

- ・基本目標 2、個別目標 3 中の取り組みとして「暮らしやすいまちをつくるため、新たな課題等へ柔軟に対応していく」が掲げられているが、これは他の取り組みにおいても共通することであると思う。あえて基本目標 2 の中にこの取り組みを掲げた理由を教えてください。

(所管部) ご指摘のとおり、新たな課題等に柔軟に対応していくという姿勢は、他の取り組みにおいても共通することだと考えている。不確実性の高い社会の中では、これまでにはなかった全く新しい施策も講じていくことも考えられ、こうした新たな取り組みについても計画の中で整理をしていくことを考え、基本目標 2 のもとに掲げた。

- ・結婚支援のニーズがあるのは、20 歳台後半から 30 歳代であると思うが、この年代を対象とした意識調査は実施しているか。

(所管部) その年代へのアンケートは実施していない。30 歳代については、現行戦略策定時に、希望するこどもの数などについてアンケートを行っている。

- ・基本目標 3 の数値目標として市内従業者数を掲げており、目標値は現状よりも上昇する設定としているが、今後、AI などが普及すると、従業者数は減少するということも言われている。この目標値は、そうしたことも勘案した上での設定なのか。

(所管部) AI や産業ロボットの導入により生産性の向上が図られ、従業者が減るという面もあるが、その一方で、先端技術等を活用した事業所が増え、そこで雇用が生まれるという面もあると考えている。こうしたことを勘案し、市内従業者数は上昇することを設定している。

- ・人口減少への対策としては、世代別にしっかりと施策を打ち出していくことが重要であると考えている。そうした中、社会的な移動があまりない青年期の方を大和市につなぎ留めておくことが必要だと思う。例えばシリウスのように、青年期の人の心をつかむような取り組みを推進していけば、定住を促すことにつながると思う。今後、この青年期を対象とした取り組みについても検討して欲しいと思う。

- ・将来展望については、国が示すシナリオに沿うように試算されており、合計特殊出生率が 2.07 まで回復するなど、現実とは乖離したものとなっている。このため、対外的な説明の難しさのある計画であると感じる。

- ・総合戦略の計画期間は 5 か年であり、将来展望の 2060 年の人口にまで責任を果たすようなものではないと考える。

- ・北・中・南部の人口のバランスを保つことは非常に難しい。南部においては、区画整理を実施しても人口が増えていない状況もあり、何が課題なのかを改めて見つめなおすことが必要かもしれない。また、企業の誘致等、市の財源を投入しない人口バランスのとり方もあると思う。

(所管部) 人口のバランスを保つことについては、市の財政出動だけでは対応が限られてくるため、企業誘致等も含め、様々な面から考えていかなくてはならないと思う。市としてどのような取り組みが必要か、今後も全庁的に考えていきたいと考える。

- ・結婚支援については、現行計画同様、基本目標 1 のもとに位置付ける方向で進めて欲しい。

会議結果

一部修正のうえ、進めていく。